

交通費・宿泊費  
全額支給!!

～報酬改定後の経営を支える中核人材をいかに育てるか～

## 第7回「民介協 経営者研修会」のご案内

これまで多くの経営者・経営幹部の方々にご参加いただき、高い評価を頂戴した「民介協 経営者研修会」を本年度も開催いたします。

厳しさを増す制度環境の中で活気のある法人経営を行うためには、組織におけるミドル人材の役割が重要であり、**その育成は、経営者の極めて大きな使命**です。その一方で、多くの法人から**ミドルの育成がうまくいかない、ミドルが育たない**との声も聞かれます。

今回の経営者研修会では、**経営者として「いかにミドル人材を育てるか?」「自らの手でミドルを育てる!」**というテーマで、経営を支える中核人材の育成プランをともに考えていきます。

本年度も全国中小企業団体中央会の研修補助を活用して行うため、受講者の皆様方の**会場までの交通費・研修期間中の宿泊費（前泊分含む）は全額支給**いたします。多数の経営者、経営幹部、幹部候補の皆様方のご参加をお待ちしています。

○件名	第7回 民介協 経営者研修会
○日時	平成29年11月24日(金)～26日(日) ※2泊3日の合宿研修。23日の前泊も可です。
○会場	セミナーハウス クロス・ウェーブ船橋 (千葉県船橋市本町2-9-3) ※自家用車でのご来場はお控えください。
○募集人員	32名限定(先着順) <b>9月29日(金)申込必着</b> (民介協会員様に限りです)
○会費	70,000円(税込 飲食・宿泊費込 一括前払い) ※会場までの交通費・宿泊費は全額支給いたします。
○プログラム (詳細は次頁)	1. 受講者自己紹介 2. 介護報酬改定に関する理事長講演 3. 関西学院大 佐竹教授による講義(経営人材育成) 4. 介護経営者による経営人材育成の事例報告 5. 中核人材の育成に関するグループワーク 6. ワーク成果の報告会+講評 7. 兵庫県立大 小山教授による講演 8. 修了証 授与

### 第7回 民介協 経営者研修会 講師のご紹介

全体統括  
兵庫県立大大学院  
経営研究科 教授  
小山秀夫 氏

国立医療・病院管理研究所医療  
経済研究部部長、国立保健医療科  
学院経営科学部部長、静岡県立大  
学経営情報学部 学部長、同大  
大学院経営情報学研究所 研究科長  
等を歴任。

介護や福祉の分野を経営学的な  
視点から研究。雑誌等への寄稿や  
著書も多数ある。



関西学院大学 大学院  
経営戦略研究科 教授 佐竹隆幸 氏

旧神戸商科大学教授を経て、現職。  
中小企業・産業構造・企業倫理・地  
域振興を中心に研究活動に従事。日  
本中小企業学会副会長や兵庫県内の  
自治体の委員など公職を歴任。

サンテレビ「キラリけいざい」  
「ニュースポート」、ラジオ関西  
「時間です!林編集長」などのレ  
ギュラーコメンテーターを務める。  
中小企業経営に関する著書も多数。



※ 研修参加者には佐竹先生のご著書を贈呈いたします。  
※ 民介協佐藤理事長や介護経営者による講演も行います。

○対象者：介護経営者・経営幹部で、下記のような問題意識をお持ちの方

- 法人の将来のため、**ミドル人材の育成プランを集中的に考えたい方**
- 厳しさを増す制度環境において、**組織変革とともに挑む幹部職員の育成策を学びたい方**
- 必要な**ミドルの人材像を明確にしたい方**、他の経営者と**ミドル育成の悩みを共有したい方**
- 経営者との議論を通じ、**ミドル人材に求められる能力や資質を学びたい方**

※グループワーク中心の研修となりますので、3日間ともご参加をいただける方のみ、お申し込みください。

※ミドル人材の育成方法を学ぶ研修内容になります。経営者の方、将来的に経営に携わる予定がある方の参加を推奨します。

■ 本件のお問い合わせ先・お申込み先

一般社団法人『民間事業者の質を高める』全国介護事業者協議会(略称:民介協)事務局

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-3 児谷ビル3階

TEL:03-5289-4381 / FAX:03-5289-4382 / 電子メールアドレス:[info@minkaikyo.info](mailto:info@minkaikyo.info)

※上記プログラム・講師等は予告無く変更する場合がありますので、ご了承願います。

## ◆研修プログラム

	11月24日(金)	11月25日(土)	11月26日(日)
○午前	※9時開場・9時30分研修開始 ◆ 開講挨拶・自己紹介 ◆ オリエンテーション ◆ アイスブレイク ◆ 理事長講演会（報酬改定関連）	※8時半研修開始 ◆ グループワーク	◆ 参加者による発表と質疑応答 （質問者：小山教授ほか）
○午後	◆ 佐竹教授による経営人材育成に関する講演 ◆ グループワーク課題の提示 ◆ 事前課題の共有 ◆ 介護経営者による人材育成事例に関する講演（※）	◆ グループワーク（継続） ※適宜、情報提供を行います。	◆ 小山教授による講演 ◆ 修了証授与 ◆ 閉講挨拶（写真撮影後解散） ※15時頃現地解散予定
○夜間	◆ 懇親会	◆ 進捗報告 ◆ グループワーク ※必要に応じて作業を継続	—

（※）現在、経営人材の育成に積極的に取り組む複数の介護事業者と調整中です。決定次第、民介協ホームページ等でご報告致します。

## ◆研修参加のメリット（過去の受講者の体験談による）

- ◆ 普段は取り組めない**経営課題に、集中的に取り組むよいきっかけ**になった（男性・40歳代・法人役員）。
- ◆ **介護報酬に依存した経営から脱却**し、制度ビジネスの枠を超えた**自律的な経営**のあり方について、ヒントを得ることができた（男性・40歳代・法人経営者）。
- ◆ 業界の**第一線で活躍**する介護経営者、研究者などとの議論・交流を通じ、日々の業務からでは得られない**知識や視野の拡大**を図ることができた（女性・50歳代・事業所管理者）。
- ◆ 研修終了後も各種研修で再会したり、Facebook等でつながりを持つことにより、**いつでも悩みや情報を共有できる横のつながりをつくる**ことができた（女性・30歳代・法人本部管理職）。
- ◆ 各地域で存在感を持つ介護経営者との交流により、**経営に対する意識の向上、危機感の醸成**につながった（女性・40歳代・法人経営者）。

## ◆昨年度の研修風景



## ◎白熱するグループワーク

「地域で選ばれる介護事業者になるには？」というテーマについて、夜中まで**白熱したグループディスカッション**が行われていました。  
 ここまで**集中して経営のことを考える機会**は、あまりないのではないのでしょうか？

## ◎恒例の成果報告会

研修最終日には、小山教授ほか有識者や他の受講者に対して、**グループワークの成果を報告**します。  
 先生方によるコメント内容等から、1年間の**自身の成長度合いを確認**するために毎年参加する方もいらっしゃいます。

～報酬改定後の経営を支える中核人材をいかに育てるか～

**第7回「民介協 経営者研修会」参加申込書(9月29日(金)必着)**

御社名			
フリガナ	(姓)	(名)	ご年齢 歳
お申込者様のお名前			性別 男性 ・ 女性
お申込者様のご連絡先	【住所】〒		
	【Tel】:		【Fax】:
	【メールアドレス】: @		
部課・役職			
介護業界での ご経験	現場経験:約_____年 経営経験:約_____年	経営者との続柄 (いずれかに○)	1. 本人 2. 子・孫 3. 婿・嫁 4. 配偶者 5. その他親族(おい・めい等) 6. 親族ではない
本研修宿泊施設での喫煙・禁煙のご希望(※) (いずれかに○)	1. 禁煙の宿泊部屋を希望 2. 喫煙の宿泊部屋を希望 3. どちらでもよい	過去の次世代研修等へのご参加の状況 (いずれかに○)	1. 次世代研修に参加したことがある 2. 若手研修会に参加したことがある 3. 今回が初参加
本研修施設への前泊の必要性 (いずれかに○)	1. 前泊が必要(費用事務局負担) 2. 前泊は不要	船橋までの交通手段 (あてはまるもの全てに○)	1. 新幹線 2. 1. 以外の鉄道 3. 飛行機 4. その他( )

(※)お申し込みの時期等によっては、ご希望に添えない可能性があります。

**◆研修内容に対するご意見・事務局へのご質問事項等**

研修に内容に対するご意見、事務局へのご質問等	
------------------------	--